

■用語解説

【あ】

ＩＣカード乗車券

ＩＣカード乗車券は、集積回路(Integrated Circuit)を内部に組み込んでいる非接触式のカードです。ＩＣカードで公共交通に乗車することができ、残額がなくなった場合、何回でも入金が可能です。カードによってはクレジット機能も付加でき、加盟している商業店舗での買物にも利用できます。また、乗車や買物の利用料金に応じてポイントが加算され、そのポイントがカード料金としてご利用できるものもあります。

相乗り通勤

同じ会社等に通勤する際、複数の人が１人の自家用車に相乗りして通勤する方法のことです。自動車交通量や燃料費を削減できます。

ＥＴＣ

『ＥＴＣ』とは、Electronic Toll Collectionの略で、高度道路交通システムの一つで、「ノンストップ自動料金支払いシステム」のことです。

有料道路を利用する際に、料金所で停止することなく通行出来るシステムで、無線通信により料金の収受を行います。

エコカー（低公害車）

従来のガソリン車やディーゼル車に比べて、窒素酸化物（ NO_x ）、粒子状物質（PM）、二酸化炭素（ CO_2 ）といった大気汚染物質や温室効果ガスの排出が少ない自動車のことです。また、全く排出されない自動車もあります。走行時の音も静かなものもあり、自動車の騒音問題の対策としても有効です。

エコドライブ

急発進や急加速をしないなど、地球環境にやさしく燃料の消費を少なくする自動車の運転のことです。エコドライブを実践することにより、燃料の使用量が減り、自動車から排出される二酸化炭素等の排出ガスが抑制でき、経済的効果や安全運転にもつながります。

ＬＲＴ

『ＬＲＴ』とは、Light Rail Transitの略称で、次世代都市交通システムのことです。騒音が少なく速い、低床式（乗降口でステップを無くした車両）で乗り降りがしやすいと言った特徴があり、昔ながらの路面電車のイメージを一新した、人と環境にやさしい新しい交通機関として注目されています。

おでかけ交通

高台地区や廃止路線地区において、地域住民がおでかけ時の交通手段を確保するため、地域住民と交通事業者と行政の三者が協働して、マイクロバスやジャンボタクシーを運行するものです。

主に高齢者の方々の買物や通院の際に利用されています。

【か】

カーシェアリング (Carsharing)

カーシェアリングとは、1 台の自動車を複数の会員が共同で利用する自動車の新しい利用形態です。利用者は自ら自動車を所有せず、管理団体の会員となり、必要な時にその団体の自動車を借りるという、会員制レンタカーのようなものです。

架線式蓄電池電車

非電化区間を走るディーゼル車に替わる次世代車両として期待される蓄電池で駆動する車両のことです。ディーゼル車から架線式蓄電池電車への置き換えにより、二酸化炭素などの排出や騒音を低減でき、ブレーキ時に発生する回生エネルギーを蓄電池に充電することで、エネルギーの有効活用も可能となります。

環境モデル都市

環境モデル都市とは、世界の先例となる低炭素型都市構造への転換を進めるものとして「都市と暮らしの発展プラン」（平成 20 年 1 月 29 日地域活性化統合本部会合了承）に位置づけられた取り組みです。それぞれの地域の特性を生かし、低炭素社会の実現に向けて、温室効果ガス排出の大幅な削減など、高い目標を掲げて先駆的な取り組みにチャレンジする自治体を選定されています。現在では、本市をはじめ全国で 23 の自治体を選定されています。

公共車両優先システム (PTPS)

路上に設置した情報収集機器（光ビーコン）がバス車載装置からの信号を受信すると、進行方向の交通信号機をバス優先（赤の短縮、青の延長など）とするシステムで、信号停止回数が少なくなり、走行性が良くなります。また、信号待ち時間が少なくなり、運行時間もより正確になります。これらの利便性向上によって、自家用車などから大量輸送が可能であるバスへの利用転換を促進して交通総量を抑制し、交通渋滞の緩和等、交通流の円滑化、騒音の低減、大気汚染物質の排出削減を図るものです。

コミュニティサイクル

コミュニティサイクルとは、共用の自転車を通常のレンタサイクルのように借りた場所に返すだけでなく、複数の他の駐輪施設（サイクルポート）でも貸出・返却を可能としたシステムのことです。

コミュニティバス

市区町村や交通事業者等が、地域住民の移動手段を確保するために、一定地域内を運行するバスのことです。市街地内にある公共交通が不便な地域において、バス運行を行うもののほか、市街地内の主要施設や観光拠点等を循環する路線といった様々なタイプがあり、従来の乗合バスを補う公共交通サービスとして、全国的に急速に導入されています。

【さ】

サイクル&ライド

自宅から最寄の駅やバス停まで自転車を利用し、そこから鉄道やバスなどに乗車して目的地へ行く方法のことです。

市街化区域

既に市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のことです。

人口集中地区（D I D地区）

人口集中地区とは、統計データに基づいて一定の基準により都市的地域を定めたものであり、原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域のことを示します。

走行台キロ

自動車の走行距離（交通量×延長）の総和のことです。（10台の車が10km走ると、100台キロとなります。）

次世代都市交通システム

LRT、BRTなどの新たな公共交通機関のシステムのことで。

自転車専用レーン

自転車専用の通行帯のことです。

【た】

低床バス

車椅子や足の不自由な人、お年寄りの方等が楽に乗り降り出来るように、バスの出入口の床（ステップ）を低くしたバスのことです。

低炭素社会

低炭素社会とは、地球温暖化の主因とされる温室効果ガスの1つである二酸化炭素の最終的な排出量が少ない産業・生活システムを構築した社会のことを意味します。

道路交通センサス

道路交通センサスは、全国の道路と道路利用の実態を捉え、将来の道路整備の方向を明らかにするため、全国の道路状況、交通量、旅行速度、自動車運行の出発地・目的地・運行目的等を調査するもので、道路に関する国勢調査ともいうべきものです。

調査内容は、交通量・旅行速度などの実測を行う「一般交通量調査」、アンケート調査等により地域間の自動車の動きを把握する「自動車起終点調査」に大別されます。

道路交通センサスは、5年毎に実施されています。

都市計画道路

都市計画道路とは、広域的な道路網との整合性はもとより、土地利用や他の都市施設との十分な連携のもとに、都市計画として配置される都市の基盤的な交通施設で、都市計画法に基づき都市計画決定を行った道路です。

【は】

トラベルフィードバックプログラム(TFP)

トラベルフィードバックプログラム(Travel Feedback Program)とは、モビリティ・マネジメントの技術のうち「行動プラン法」、「フィードバック法」を組み合わせたもので、ひとりひとりの自律的な行動変化を促すコミュニケーション型のプログラムです。

参加者ひとりひとりの外出行動を記録していただき、その結果を診断し、クルマ利用予定を対象として「かしこいクルマの使い方」を考え実践することを促し、さらに取り組みの結果やどのような効果が得られたかをお知らせする一連のプログラムのことを意味します。

トリップ

人が目的を持って、ある地点から他の地点へ移動することです。

1つの『トリップ』では、起点から終点までいくつかの交通手段を利用した場合一連の移動を言います。

【な】

乗合い送迎バス

複数の企業とバス事業者が協力して運行し、一般客の利用も可能な乗合いバスのことです。

パーク&ライド

主に通勤時に自宅から最寄の鉄道駅やバス停まで自家用車を使い、そこから鉄道やバスを利用して、都心や街なかの勤務先に行く方法のことです。

都市部等の交通渋滞の緩和につながる、環境にもやさしい移動方法です。

パーソントリップ調査(PT調査)

交通の主体である人(パーソン)の動き(トリップ)に着目し、交通の目的や利用交通手段、移動の起終点の位置など多面的に実態を把握する調査のことです。調査結果は、都市計画の目標を実現するための交通体系の整備方針や交通施設の検討に用いられます。

バスカメラ

路線バスに搭載したカメラで、専用・優先レーンで違法走行や違法駐車をしている車両を撮影するシステムです。

バスレーン

バスの定時運行を確保し、輸送力の改善を行うため、道路交通法に基づき、道路の区間と時間を設定して、バスが専用又は優先して走行できる車線のことです。

バスロケーションシステム

バスロケーションシステム(Bus Location System)は、無線通信や GPS などを利用してバスの位置情報を収集することにより、バス停留所や携帯電話、インターネットでバスがどこにいるかなどの情報を提供するシステムのことです。バスの運行は、道路事情や天候による影響が大きく、鉄道などの他の交通機関に比べて定時性の確保が難しいため、バスの位置情報を提供することで、利用者はバス停に到着するおよその時間が分かり、待ち時間を有効に利用することが可能となります。

パブリックコメント

行政が計画を策定する際に、あらかじめ計画の原案を市民に公表し、市民の意見募集を行い、寄せられた意見を反映または考慮して、最終的な計画づくりを行う一連の手続きのことです。

バリアフリー

もともとは建築用語で「バリア（障壁）をフリー（のぞく）」つまり障壁となるものを取り除き、生活しやすくすることを意味します。建物内や道路等の段差など、物理的な障壁の除去という意味合いから、最近ではより広い意味で用いられてきています。

BRT

『BRT』とは、Bus Rapid Transitの略で、連節バス、公共交通優先システム（PTPS）、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで、速達性・定時性の確保や、輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステムのことです。

BDFバス

BDF とは「バイオディーゼルフューエル（Bio Diesel Fuel）」のことで、使用済み食用油をリサイクルして製造したバイオディーゼル燃料を燃料としたバスのことです。

フィーダーバス路線

地域間や拠点間を結ぶ幹線的な公共交通機関に対して、その幹線のバス停や鉄道駅からさらに延びる支線的なバス路線のことです。住宅街や団地から最寄り鉄道駅までのバス路線などが該当します。

【ま】

モータリゼーション

モータリゼーション（motorization）とは、自動車が大衆に広く普及し、生活必需品化する現象を表し、「動力化」「自動車化」を意味します。狭義では、「自家用乗用車の普及」という意味で使われることが多くあります。

モビリティ・マネジメント

ひとり1人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向に、自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通政策のことです。例えば、公共交通の時刻表や路線図などのわかりやすい情報を提供し、過度な自家用車の利用から環境にやさしい乗り物である公共交通への利用転換を図ります。

【ら】

レンタサイクル

レンタサイクル（Rent-a-cycle）とは、観光、行楽、通勤、通学、商用などの目的のために自転車を貸し出す事業をさします。近年では都市部における交通渋滞や放置自転車といった都市問題への対応策の一つとして、一台の自転車を複数の人が通勤・通学や、営業などに使われることを想定した「都市型レンタサイクル」が広まってきています。

**北九州市環境首都総合交通戦略
＜北九州市地域公共交通網形成計画＞**

平成28年3月作成

北九州市 建築都市局 計画部 都市交通政策課
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号
TEL 093-582-2518